

はじめに

「投資」と聞いて、みなさんはどんなことをイメージするでしょうか。「よくわからない」「楽にもうかる」「怖い」など思ったりするでしょうか。

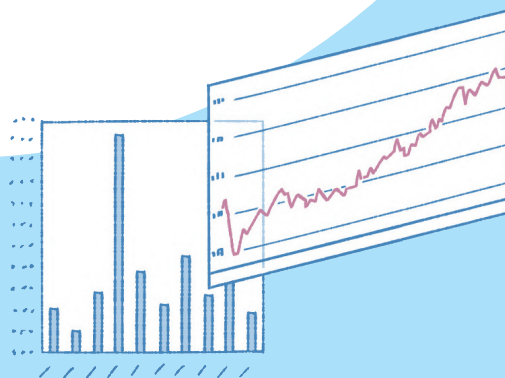
投資とは、将来のためにお金や力を投入することです。

注いだお金や力が将来役に立つようにするためには、金融の知識を身につけ、投資のしくみをきちんと理解し、さまざまな情報の中から真偽を見極め、自分の価値観と照らし合わせながら、投資をするのかしないのか、どのような方法で投資をするのかなどを決める必要があります。投資はギャンブルではありませんし、絶対にもうかる方法というもの也没有せん。一方で、投資は、みなさんの未来の可能性を拡げることでもあります。

まずは投資とはなにか、正しい知識を身につけることが第一歩です。この本が、そのスタートとなるでしょう。

監修 東京学芸大学教育学部生活科学講座 准教授

藤田智子



- 本書の内容や情報は製作時点（2022年10月）のもので、今後変更が生じる可能性があります。
- 本書は金融商品の種類や特徴について説明していますが、実際の投資や金融商品の売買などを推奨するものではありません。
- 実際に投資を行う場合は、取引先の証券会社などで内容を確認、検討の上、ご自身の責任と判断で行うようお願いいたします。

もくじ



はじめに	2
① お金ってなんだろう？	4
② 投資ってなに？	8
③ どうすれば投資できるの？	12
④ 投資ってお金がかかるの？	16
ひと休みコラム 偉人たちの投資はじめて物語	20
投資のあれこれ その1 ⑤ 株式投資のしくみ	22
投資のあれこれ その2 ⑥ 債券投資のしくみ	26
投資のあれこれ その3 ⑦ 投資信託のしくみ	30
投資のあれこれ その4 ⑧ そのほかの投資	34
さくいん	38
エピソードまんが 投資ってなに？	39



① お金ってなんだろう？

投資のことを学ぶ前に、そもそも私たちの生活には、
どのようなお金とのかかわり方があるのかを
考えてみましょう。

「投資」を学ぶ前に知っておいてほしいこと

あなたはどのようにお金とかわかって
いますか？ まず頭に浮かぶのはお
金でなにを買うことでしょうか。つま
り、お金を「使う」ことです。また、
私たちはお金がないと生活することが
難しくなります。ですから多くの人は
働いて「稼ぐ」ことで、お金とかわっ
ています。稼いだお金は銀行に預ける
などして「貯める」こともできるので、

預貯金するときにお金とかわかること
もあります。さらに税金を「納める」
ことにもお金が必要になります。

もう1つ、お金とのかかわり方で
知ってほしいことがあります。お金は
使ったり稼いだり、貯めたりするだけ
でなく、やり方次第で「増やす」こと
ができます。それが「投資」と呼ばれ
るものです。

使う

私たちが社会で生きていくた
めには、食べ物や着る物、住
むための家などがが必要です。
お金を使って（支払って）、
それらを買ったり借りたりし
ています。

稼ぐ

お金を手に入れるためには、
仕事をするなどしてお金を稼
ぐ必要があります。大人にな
ると、多くの人が働いてお金
を手に入れて生活するようにな
ります。

お金 とのかかわり方

貯める

仕事やおこづかいなどで手に
入れたお金を貯める人もたく
さんいます。貯めたお金はそ
の人の財産になります。病気
や災害などもしものときに備
えることにもなります。

納める

私たちが住む市区町村や都道
府県、国に消費税などの税金
や年金を「納める」ことが国
民の義務になっています。

そして

「増やす」

お金自体に働いてもらうことで、お金を増やす
ことができます。運用のしかたはさまざまで、
それがこの本のテーマです。

③ どうすれば投資できるの？

投資の現在の状況と大まかなやり方を
見てみましょう。

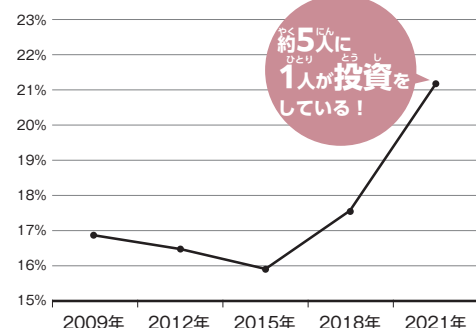
若い世代を中心に投資をする人が増えている

「投資する」とは、金融商品と呼ばれるものを自分のお金を出して購入するという事です。金融商品には「株式(P.22)」「債券(P.26)」「投資信託(P.30)」などの種類があります。

もちろん必要がなければ投資をすることはありません。実際、これまで投資は、「怖い」「ギャンブルみたい」という印象を持つ人が多く、投資に関心のある人や、お金に余裕のある人が投資をする傾向にありました。

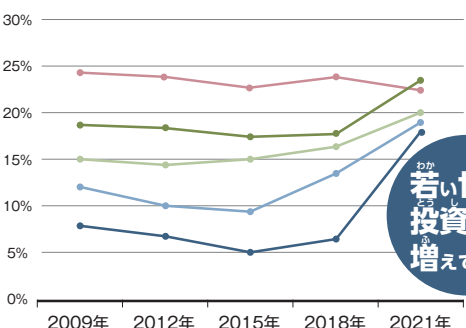
でも近年では、少額で投資を始められるようになったり、インターネットの普及で投資の手続きが簡単になったりするなど、投資をしやすい環境が広がってきました。さらに、今の日本は金利がとても低く(P.7)、超高齢社会ということもあり、年金制度や将来に不安を持つ若い世代を中心に、投資をする人が増えてきています。投資は特別な人が行う時代ではなくなってきました。

●投資を行っている人の割合 (25～69歳の男女)



出典
NRI「生活者1万人アンケート調査」より(2009～2021年)
https://www.nri.com/jp/knowledge/blog/1st/2021/fis/financial_business_trends/1215
※エラーバーを省略しています。

●投資を行っている人の割合 (年齢階層別)



若い世代の
投資が
増えている！

投資のしかたはそれほど難しくない？

投資をするには、証券会社をはじめ、銀行や生命保険会社などの金融機関を利用します。扱っている商品や手続きの方法はそれぞれ異なりますが、投資を始める基本的なステップは次のようになります。

- ① 投資する商品の種類を選ぶ
- ② 専用の口座をつくって入金する
- ③ 商品(銘柄)を選んで購入する

未成年の場合は親の承諾が必要で、そのための書類を提出するなど、必要なステップが加わります。

このように投資を始めるステップはいたって簡単です。でも投資の取引にはさまざまな規則があって、取り扱う商品や金融機関によってやり方が異なるので、よく確認しなければなりません。どの商品を買うか、どこで口座をつくるか、いくら使うのか、よく考えて投資を始めることが大切です。

Step3 商品を選んで購入する

投資する商品を選びます。例えば株式投資の場合、会社の株=商品(銘柄)を選んで購入します。

Step1 投資する 商品の種類を選ぶ

株式、債券、投資信託など投資できる金融商品にはさまざまな種類があります。どの種類の商品に投資するかを決めることから始めます。



Step2 専用の口座を つくって入金する

投資のための専用の口座をつくり、投資に使うために入金します。取り扱っている商品や手続きのしかたは金融機関によって異なります。インターネットで口座をつくることのできる金融機関も増えていきます。店舗に相談窓口を備えているところもあります。



【年金制度とは】

今働いている世代が支払った保険料を、高齢者が年金として受け取ることでできる制度。20歳以上のすべての人が加入する「国民年金」と、会社員や公務員が加入する「厚生年金」などで集められたお金で制度が支えられています。